

# 保育や医療三つの無償化を

## '21 都議選

### 各党に聞く③

小池都政をどう評価するか。我々が届けた現場の

声を受け止め、都政を評価している。都議会公前に進めている点を評 明党が主張した私立高

### 高木陽介・公明都本部代表



校授業料の無償化に予算をしっかりと組んでくれ、実現できた。この動きが引き金になり、国全体の制度に拡大できたことは大きい。新型コロナウイルス対応でも我々は49回要望をしているが、受け止めて実現してくれている。——前回選で都民フ

アーストの会と連携したが、今回は自民党と選挙協力する。この4年間感じたのは、都民フは政党としてのガバナンスが効いていないということだ。執行部同士で協議して一度決まったことが、持ち帰るとまとまらなくなるとか、そういうことがあった。自民党とは協力して都議会を進めてきた歴史がある。前回選は小池百合子知事への態度が自公で食い違っって政策を共にすることができなかつたが、4年がたつ間に自民も都政を前に進めるという判断の下、知事への姿勢が変わってきた。東京の課題をどう解決するかを真摯に協議できるようになった。——都議選では何を訴えるか。

新型コロナウイルスのワクチン接種をいかに前に進めるかは重要だ。党のネットワークを通じて現場の課題を吸い上げ、都や国に伝えて区市町村を支えていく。また、都議選では八つの政策目標「チャレン

ジ8」を掲げているが、そのうち三つの無償化は特に強く訴えたい。第2子の保育料、高3までの医療費、肺炎球菌ワクチンの接種費用だ。生活に困っているところに光を当てたい。

——目標議席数は。新型コロナウイルスでかつてない大変厳しい選挙だ。立候補を予定する23人全員の当選を目指していく。【聞き手・古関俊樹、黒川晋史】

二つづく